

Cardiovascular Imaging In-a-Month

● A 70-Year-Old Woman With Left Atrial Mass

片岡 一

Hajime KATAOKA, MD

症 例 70歳, 女性

主 訴: 手術前の心精査

現病歴: 1998年3月24日, 交通事故による左下腿骨折にて, 整形外科入院中であった。全身麻酔下による観血的骨接合術予定のため, 心精査目的で内科紹介となった。自覚症状として, 外傷部位の疼痛以外, 時に胸やけを感じるのみであった。診察時, 血圧128/65mmHg, 脈拍83/min, 心雑音や過剰心音, 肺野ラ音は聴取せず。血液検査にてヘモグロビン濃度7.8g/dlと貧血を認め, 便潜血反応は陽性であった。血液生化学検査では, 肝臓, 腎機能に異常はなかった。12誘導心電図では, V₅, V₆, 下壁誘導にて軽度のST低下を認めた。

経胸壁長軸断層心エコー図(Fig. 1-左), 左房レベルのMモード心エコー図(Fig. 1-右)ならびに胸部単純X線写真(Fig. 2)を示す。

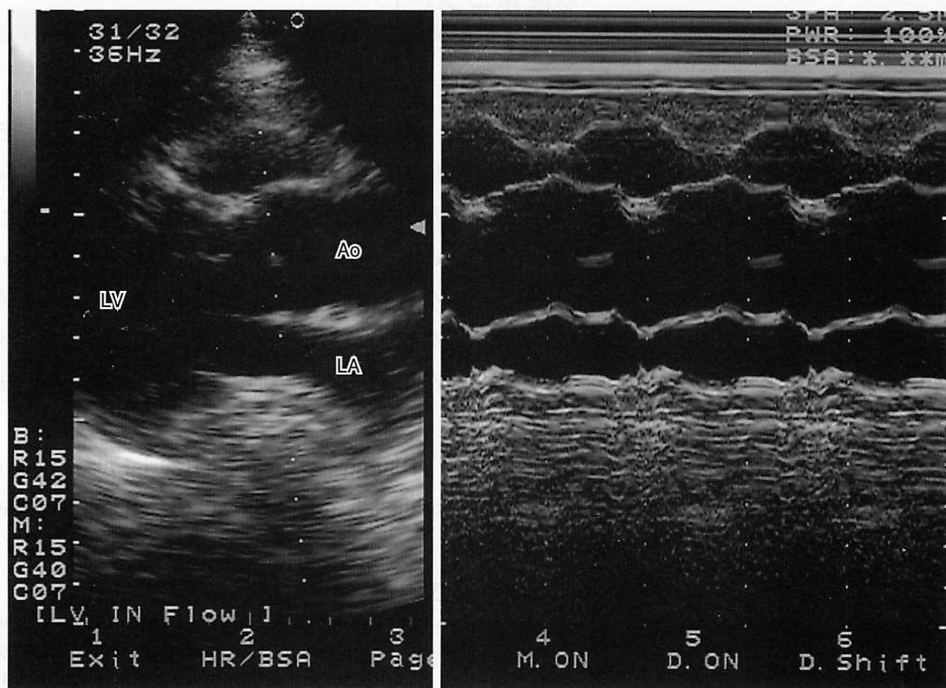


Fig. 1

慈恵会西田病院 内科: 〒876-0831 大分県佐伯市大手町3-3-24

Division of Internal Medicine, Jikei-kai Nishida Hospital, Oita

Address for reprints: KATAOKA H, MD, Division of Internal Medicine, Jikei-kai Nishida Hospital, Ohte-machi 3-3-24, Saiki, Oita 876-0831

Manuscript received December 9, 1998; accepted December 14, 1998

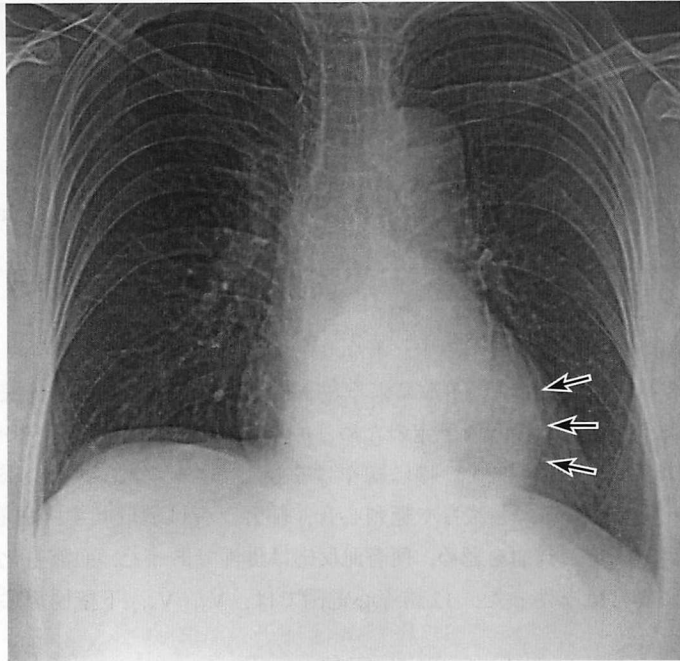


Fig. 2

診断のポイント

経胸壁心エコー図検査にて、左室・右室の拡大、壁肥厚はなく、また壁運動も正常であった。左心ならびに右心系弁膜の異常も認めなかった。断層心エコー図にて、半球状に突出する腫瘤状陰影が左房後壁に認められた(Fig. 1-左)。腫瘤エコーは充実性で、Mモード心エコー図(Fig. 1-右)では、多層の異常影として記録された。左房内腔は狭小化するも、血流速は正常であり、血行動態的には影響はないものと判断された。胸部X線写真(Fig. 2)を見ると、心陰影に重なって、大動脈陰影とは別に、それと並行して縦走する柔らかい陰影が認められた。この異常陰影と左房内腫瘤との関連を探るため、胸部X線コンピューター断層撮影法を施行した(Fig. 3)。心房レベルの水平断層像にて、左房を後側壁より圧排する構造物が認められ、この構造物は、解剖学的に上部消化管によるものであることが判明した。なお、このコンピューター断層撮影像で、左房内に腫瘤陰影は検出されなかった。さらに食道-胃透視検査により、巨大な胃滑脱ヘルニアの存在が確認された(Fig. 4)。入院時検査にて、貧血ならびに便潜血反応も陽性であったため、上部消化管の内視鏡検査を施行したところ、食道、胃の粘膜び爛が確認され

た。下部消化管検査は正常であった。

断層心エコー図法の出現により、心腔内の血栓や腫瘍の診断能は著しく向上した。一方、心外腫瘍による左房壁の圧排で、左房腫瘍類似の所見を呈することがあり、心内腫瘍や血栓との鑑別を要することが少なくない¹⁾。胸腔内腫瘍以外にも、食道拡張²⁾による同様な指摘があるが、ここに報告した胃滑脱ヘルニアも、左房腫瘍との鑑別において考慮すべき病態である。

Diagnosis: Pseudo-left atrial mass due to displacement of the left atrial free wall by a giant hiatal gastric hernia

文 献

- 1) Yoshikawa J, Sabah I, Yanagihara K, Owaki T, Kato H, Tanemoto K: Cross-sectional echocardiographic diagnosis of large left atrial tumor and extracardiac tumor compressing the left atrium: Limitation of M mode echocardiography in distinguishing the two lesions. *Am J Cardiol* 1978; **42**: 853-857
- 2) Percy RF, Conetta DA, Miller AB: Esophageal compression of the heart presenting as an extracardiac mass on echocardiography. *Chest* 1984; **85**: 826-828

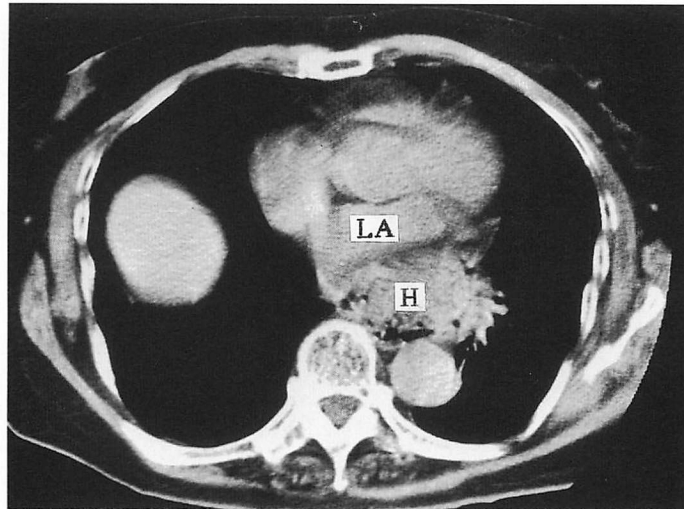


Fig. 3

Fig. 1 Two-dimensional echocardiogram in the parasternal long-axis view (*left*) and M-mode echocardiogram at the level of the aortic valve and left atrium (*right*)

Ao = aorta; LA = left atrium; LV = left ventricle.

Fig. 2 Chest radiogram (postero-anterior view)

Fig. 3 Horizontal slice of X-ray computed tomographic scan at the level of the left atrium

H = herniated stomach. Other abbreviation as in Fig. 1.

Fig. 4 Abdominal radiogram after barium administration showing a giant hiatal gastric hernia

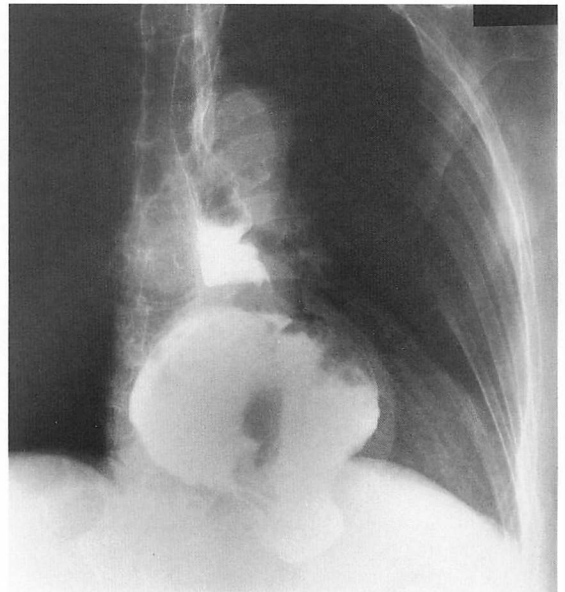


Fig. 4

『Cardiovascular Imaging In-a-Month』への投稿を歓迎します。投稿規定はxi頁をご覧ください。